

2025年8月5日  
光村図書出版株式会社

## 名文の宝庫！ 78篇の珠玉のエッセイ 『ベスト・エッセイ 2025』 8月5日（火）発売！

小・中・高等学校向けの教科書を発行する光村図書出版株式会社（所在地：東京都品川区、代表取締役社長：吉田直樹）は、日本文藝家協会より委託を受け、書籍『ベスト・エッセイ 2025』を8月5日に発売しました。

本書は、2024年に新聞・雑誌などに発表された数多くのエッセイの中から、林真理子氏ら6名の編纂委員が、心に響く作品を厳選し、まとめあげたアンソロジーです。

2024年は、元日に発生した能登半島地震に始まり、各地で猛威を振るった台風・豪雨、歴史的な猛暑など、災害の絶えない年でした。また国内外で新政権が発足したり、生成AIが飛躍的な進化を遂げたりと、激動の一年であったといつてよいでしょう。めまぐるしく変化する毎日の中で、安らぎを求める人も多かったと思われます。

そんな人々にとって本書は、歩みの速度を少し緩めて、ほっと一息ついて休むための止まり木になるかもしれません。多彩な書き手たちによる、さまざまな切り口をもった78篇。その中にきっと、あなたの思いに寄り添うエッセイが見つかるはずです。



カバー画：高橋あゆみ

世界がどんなに不安定でも、平穏とほど遠くても、  
私たちには忘れがたい一日があり、忘れ得ぬ人がいて、  
代替のきかない関係があり、うつくしい瞬間がある。  
言葉で切り取られたそんな「今」の連続が、  
この一冊には詰まっている。

——本書編纂委員 角田光代

### ■ 編纂委員

角田光代、林真理子、藤沢周、堀江敏幸、町田康、  
三浦しをん

### ■ カバー画について

不思議な植物が咲き乱れる景色の中を、本を片手に歩んでいく人物。私たちの人生は、この絵のように、言葉を携えて未知なるものに出会う旅路なのかもしれません。ポップな描線と豊かな色彩感覚で、今の時代の感性を見事に表現されるアーティスト、高橋あゆみさんの作品です。

## ■収録作品著者（全78名）

青山ゆみこ（文筆家）／ 浅田次郎（作家）／ 浅野忠信（俳優）／ 五木寛之（小説家・随筆家）／  
井上荒野（作家）／ 上坂あゆ美（歌人）／ 上間陽子（教育学者）／ 江崎文武（音楽家）／  
蛭子能収（漫画家・タレント）／ ERIKO（モデル・定住旅行家）／ 大川慎太郎（将棋観戦記者）／  
小川洋子（作家）／ 小佐田定雄（落語作家）／ 小山内恵美子（小説家・元新聞記者）／  
角田光代（作家）／ 笠井瑠美子（製本技術者）／ 川内有緒（ノンフィクション作家）／  
河崎秋子（作家）／ 川添 愛（言語学者）／ 川村 湊（文芸評論家）／ 岸本佐知子（翻訳家）  
鯨庭（漫画家）／ 齋藤陽道（写真家）／ 最果タヒ（詩人）／ 柴門ふみ（漫画家）／ 佐伯一麦（作家）／  
酒井順子（エッセイスト）／ 佐々木幹郎（詩人）／ 佐佐木 陸（小説家）／ 沢木耕太郎（作家）／  
市街地ギャオ（作家）／ 柴田一成（京都大学名誉教授）／ 鈴木咲子（花屋店主）／  
鈴木涼美（作家・エッセイスト）／ 鈴木俊貴（動物言語学者・東京大学准教授）／  
スズキナオ（ライター）／ 千 宗室（茶道裏千家家元）／ 高樹のぶ子（小説家）／ 高嶋政伸（俳優）／  
天童荒太（作家）／ 富田望生（女優）／ 西山繭子（女優・作家）／  
延江 浩（ラジオプロデューサー・作家）／ 信友直子（映画監督）／ 長谷川 宏（哲学者）／  
蜂飼 耳（詩人）／ 林 真理子（作家）／ 早見和真（小説家）／ 原田宗典（作家）／  
平松洋子（エッセイスト・作家）／ 平芳裕子（神戸大学大学院教授）／  
広瀬浩二郎（国立民族学博物館教授）／ 深沢 潮（作家）／ 福井尚子（ライター・編集者）／  
福田尚代（美術家）／ 藤沢 周（作家）／ 藤村忠寿（HTB「水曜どうでしょう」チーフディレクター）／  
星野知子（俳優・エッセイスト）／ ほしよりこ（漫画家）／ 穂村 弘（歌人）／ 堀江敏幸（作家）／  
町田 康（作家）／ 松永 K三蔵（作家）／ 三浦しをん（作家）／  
蓑田沙希（「古本と肴 マーブル」店主）／ 牟田都子（校正者）／ 村井祐樹（東京大学史料編纂所准教授）／  
村上春樹（作家）／ 村田喜代子（作家）／ 燃え殻（作家）／ 山極壽一（総合地球環境学研究所長）／  
ヤマザキマリ（漫画家・文筆家・画家）／ 横尾忠則（美術家）／ 吉田篤弘（作家・デザイナー）／  
吉峯美和（テレビディレクター・映画監督）／ 柳亭こみち（落語家）／ わかぎあふ（劇作家・演出家）／  
鷺田清一（哲学者）

## ■多彩な作品群の中から、内容を一部ご紹介

### 「おじいさんと通りすがりの者」（小川洋子）

観劇の予定を控える中、通りかかった路地で、塀にもたれて座り込んでいるおじいさんを見つけた筆者は――。

### 「僕を魚博士にした祖母の褒め殺し」（燃え殻）

「人を褒めるプロ」のような祖母に、何かにつけて褒め殺してもらえる幼少期を過ごした筆者。大人になった今も、心の中にいる祖母の声が聞こえてくることがある。

### 「小澤征爾さんを失って」（村上春樹）

日本を代表する偉大なマエストロを悼み、彼との思い出や、その生き様を振り返る。

### 「チェーン店が描く地図」（最果タヒ）

知らない街の知っているチェーン店に入るのが好きな筆者。知らない街で、近所でも食べられるはずのパフェを食べながら感じること。

### 「呪詛♡」（岸本佐知子）

古着屋で買った子ども向けTシャツに書かれていた、回りくどくてちょっと笑える"ののしりフレーズ"とは!?

### 「箱男」(浅野忠信)

安倍公房の小説を原作とした映画の撮影で、実際に「箱男」になる体験をして分かった、独特の"快感"。

### 「名付けが つくる動物の物語」(山極壽一)

内戦を経たアフリカのルワンダへ、26年ぶりに、あるマウンテンゴリラに会いに行った筆者が思索したこと。

## ■ 発行社より

ゆっくり読んで味わいたい"文章のごほうび"を、今年もたっぴりと集めました。

選りすぐられた78篇のエッセイは、心に響く名文の宝庫です。思わず共感したり、はっとする気づきを得たり、誰にも言わないでいた思いを代弁されたように感じたり――。

よい文章を読むことは、自分の心をいたわることです。

今を生きる私たちに寄り添う言葉が詰まったこの1冊を、ぜひ、日々のかたわらに置いていただけたら幸いです。

## <書籍概要>

タイトル：ベスト・エッセイ 2025

編 者：日本文藝家協会

I S B N：978-4-8138-0677-6

定 価：2,200円(税込)

仕 様：四六判(194mm×135mm) / 372ページ

発 行：光村図書出版

発 売 日：2025年8月5日

公式サイト：<https://www.mitsumura-tosho.co.jp/shoseki/essay/book-es2025>

## <会社概要>

[商 号]	光村図書出版株式会社 Mitsumura Tosho Publishing Co., Ltd.
[代 表 者]	代表取締役社長 吉田直樹
[創 立]	1949(昭和24)年2月26日
[資 本 金]	3,000万円
[年 商]	173億6,460万円(2024年10月期)
[従 業 員 数]	239名(2025年4月現在)
[所 在 地 / TEL]	東京都品川区上大崎 2-19-9 / 03-3493-2111(代表)
[U R L]	<a href="https://www.mitsumura-tosho.co.jp/">https://www.mitsumura-tosho.co.jp/</a>
[事 業 内 容]	小・中・高等学校用の検定教科書ならびに付帯する出版物の編集・発行 一般書籍・教育書等の編集・発行 学習用ソフトウェアの企画・制作

### <本リリースに関するお問い合わせ先>

光村図書出版株式会社 広報担当：児玉 e-mail: [koho@mitsumura-tosho.co.jp](mailto:koho@mitsumura-tosho.co.jp)